

JR東日本東南アジア事業開発
JR East Business Development SEA Pte. Ltd.
SEABD

2024/7/29
ネクストマーケットセミナー

JR East Business Development SEA Pte. Ltd.(SEABD) aims to introduce brands and lifestyle businesses under JR East 's network from Japan to the South East Asia region.

Expansion of lifestyle business & TOD in SEA



東南アジア市場でのまちづくり・くらしづくり

- ・エキナカ・駅周辺開発 (TOD) のノウハウ
- ・ジャパンコンテンツ (日系飲食ブランド、地産品、健康関連サービス 等)
- ・日本発スタートアップ/イノベーション
- ・日系企業・ブランドの進出支援



Collaboration with innovative companies in SEA



One&Co



Introducing Japanese products and Brands



JR TIMES
by JR-EAST

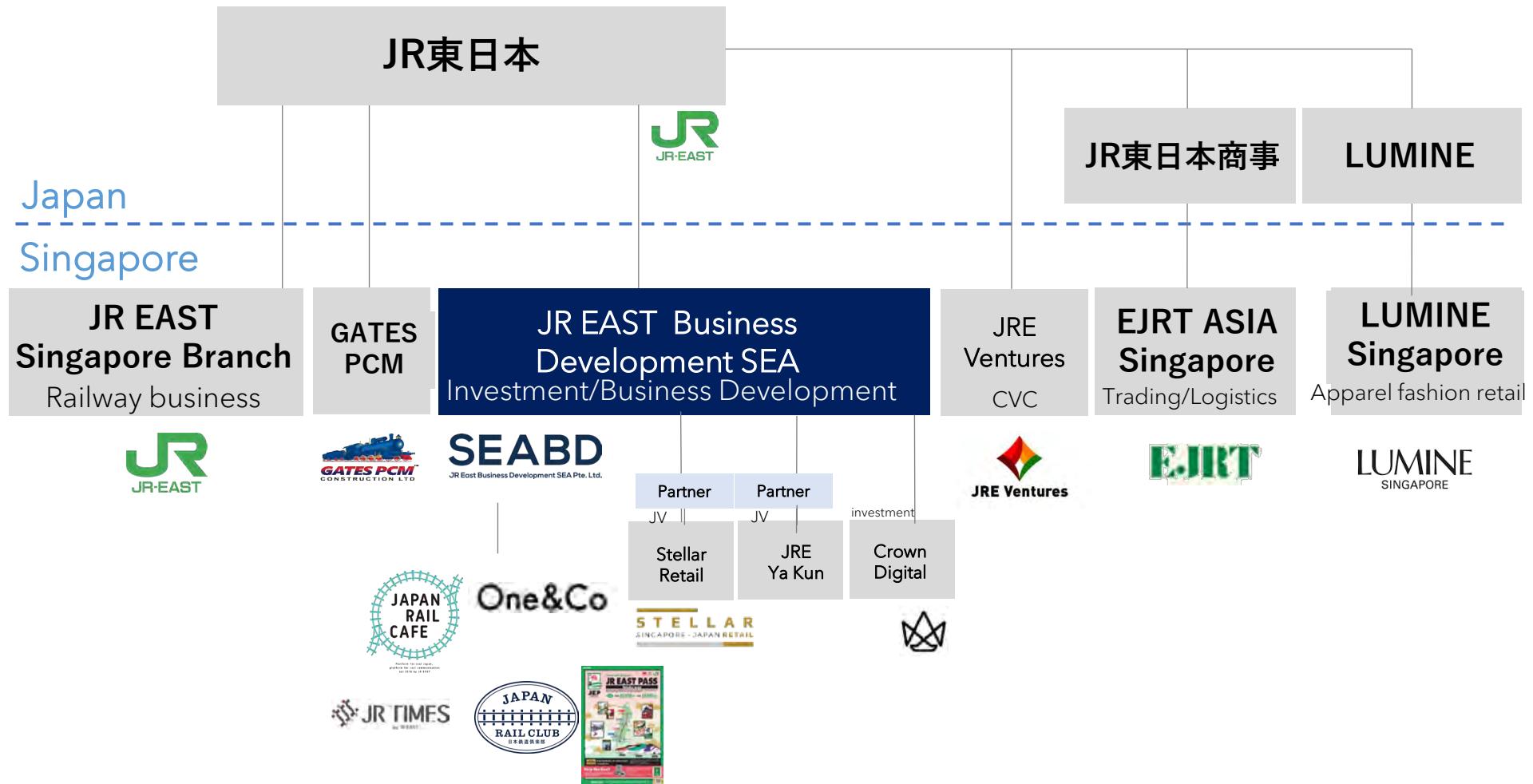
国内事業への還流・地方創生

- ・ブラッシュアップされたエキナカ・TODノウハウの還流
- ・日本ファンによる訪日リポート
- ・東南アジア発スタートアップ/イノベーション
- ・外国企業・ブランドの日本誘致

※TOD (Transit Oriented Development/公共交通指向型開発)

シンガポールにおけるJR東日本グループ

SEABD



事業紹介

コワーキングスペース運営
エキナカ施設運営
マレーシアレストランフロア運営

企業向けの交流プラットフォームとしてのコワーキングスペースを運営。日本企業の海外進出を応援するとともに、スタートアップとのマッチング機会や、ビジネス・イノベーションを創発の場を目指して展開。



One & Co

事業内容：コワーキングスペース運営

開業時期：2019年8月

場所：シンガポール中心ビジネス地区
地下鉄Tanjong Pagar駅

店舗規模：約1,200m²

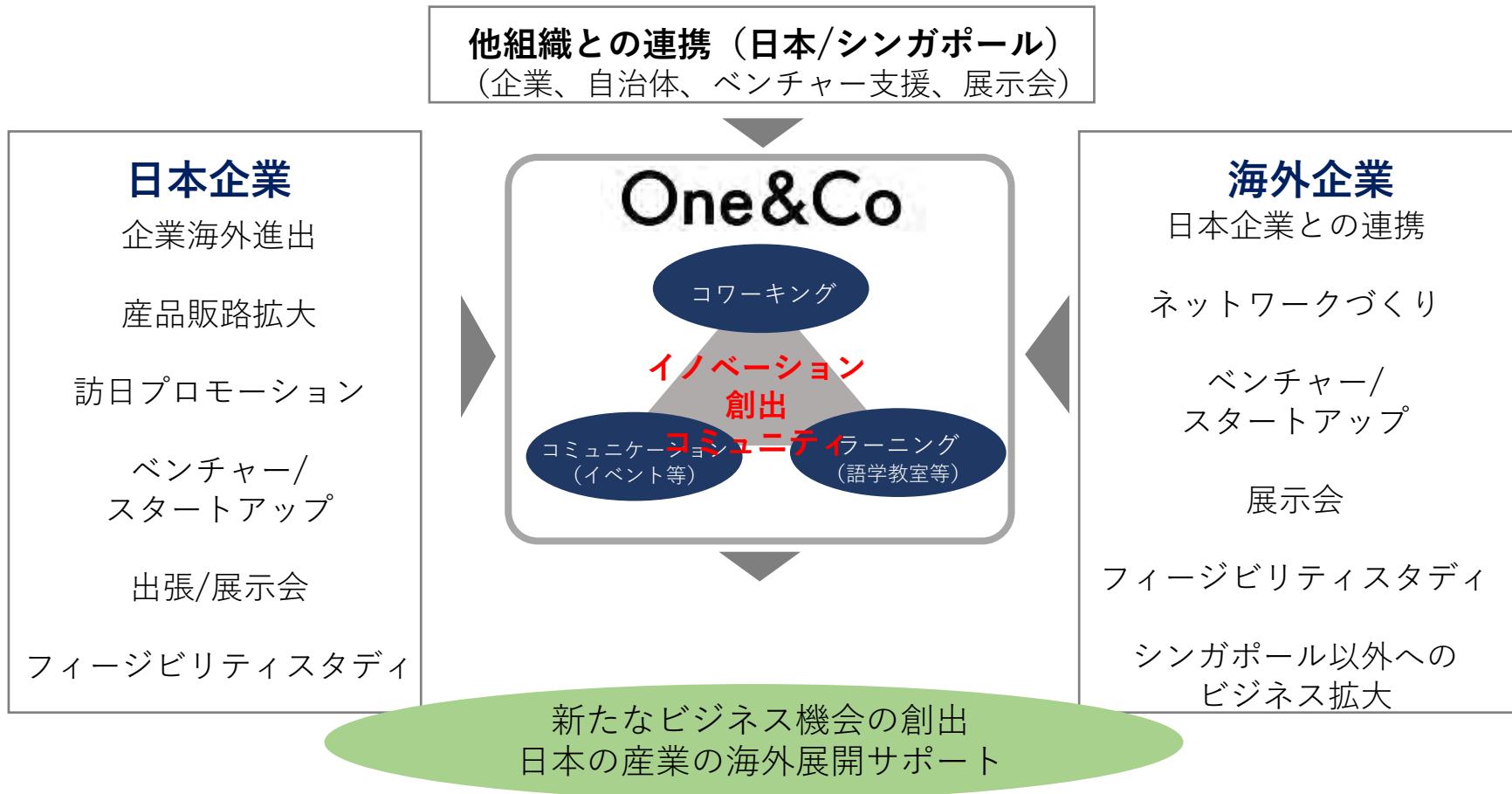
コンセプト：Platform for Innovative Business”

One & Co

SEABD



日本企業と海外企業をつなぎイノベーションを創出するプラットフォーム



シンガポールMRT新線「トムソンイーストコースト線」において、2020年より16年間の商業権を獲得。Woodlands駅を中心としたエキナカ開発を推進中。2022年7月1日に、STELLAR@TE02として第一期開業。



- 全32駅のうち27駅が対象。
- 現地鉄道会社SMRT等とのJV設立により、エキナカ開発・運営を手掛ける。



STELLAR @TE2



- ・施設名称 「STELLAR@TE2」
- ・運営会社 Stellar SG-JP Retail Private Limited
- ・所在地 トムソン・イーストコースト線 ウッドランズ駅
- ・面積 約 1,560 m²
(総貸付面積は約 4,000 m²)
- ・店舗数 計 16 店舗
(2022 年 7 月 1 日時点)



マレーシアでの事業展開進出「J'S GATE DINING」

SEABD

2024年3月、マレーシアのクアラルンプール中心地の商業施設「Lot10」の4階レストランフロア「J'S GATE DINING」の経営権を取得、当社による運営を開始。



■J's GATE DINING概要

- ・立地 商業施設Lot10 4階
Bukit Bintang, Lot10 , Level 4
- ・開業年 2018年1月18日開業
- ・業種構成 日本をテーマにしたレストランフロア
- ・テナント数 18テナント
- ・専有面積 2,519m² (約762坪)



マレーシアでの事業展開進出「J'S GATE DINING」

SEABD



P1-05
SHINANO SOBA
Soba



P1-06
TORIGEN
Tongen Chicken Ramen



P1-07
Ken-chan Curry
Ken-chan Curry



P1-12
DENSETSU NO SUTADON-YA
Tokyo Stamina-don



P1-13
MA MAISON EBISU
Tonkatsu



P1-14
MARION CREPES
Crepes



P1-18
MITSUYADO RAMEN



P1-19
YAYOI



P1-20
KAGURA



P1-08
CHASEN - KYOTO
Matcha dessert



P1-09
KAGURA TOKYO
CHICKEN RICE
Chicken Rice



P1-10/11
MO-MO-PARADISE
Suiyaki / Shabu-Shabu



P1-15
RAMEN KUMO
Ramen Izakaya



P1-16
SAKANAYA UMIHIKO
Sushi: Sashimi, Donburi, Hinomaki



P1-17
OSAKA KITCHEN
Teppanyaki, Okonomiyaki



P1-02
PASADENA BURGER



P1-03
ICHYUYTEI
Udon



P1-04A
GYUSHIN
Premium Beef BBQ B Rice Bowl

事業紹介

JAPAN RAIL CAFE
JAPAN RAIL CLUB

日本各地域の観光、イベントに関わる情報発信や、食に関わる魅力発信の拠点として
2016年にオープン。

“Platform for real Japan, Platform for real communication”
～本物の日本を体感できる「場」、お客様同士が情報交換できる「場」～

所在地 : シンガポール中心ビジネス地区
地下鉄Tanjong Pagar駅
開業 : 2016年12月4日(日)
店舗面積 : 178.8 m² (約60席)



日本各地の地方自治体・DMO、事業者と連携し、シンガポールの日本ファン向けに観光イベントを実施。郷土食作り体験やマスコットとのふれあいなどのイベントを継続して企画・実施し、リアル感のある形で地域のファンづくりを実施。



「秋田犬ツーリズム」JRCAFE秋田プロモーション



「ひがし北海道DMO」JRCAFE観光セミナー

■マンスリー企画での地域特集メニュー



■マンスリー企画と連動した地域のリテール販売



日本のまだ知られざる地域産品をPRすることを目的として、フルーツや日本酒のサンプリングを実施。試食や試飲体験を通じて各商品や各地への興味関心・訪日需要を喚起。



【和歌山県】有田みかんのサンプリング

【茨城県】地酒バーのプロモーション

伊勢五本店（新規オープン）

江戸時代中期の宝永3年から続く酒屋「伊勢五本店」。各地の酒蔵との強いコネクションを活かし、JAPAN RAIL CAFE内にある伊勢五本店シンガポール店でも70蔵、約300品目の商品を販売。お客様へ商品の特徴や魅力をご説明しながら商品を販売する対面接客が強み。お客様との関係を構築しながら、酒の販売と情報発信を行うことが可能。



蔵との
コネクション

日本でも取扱が
限定されている
酒を正規輸入



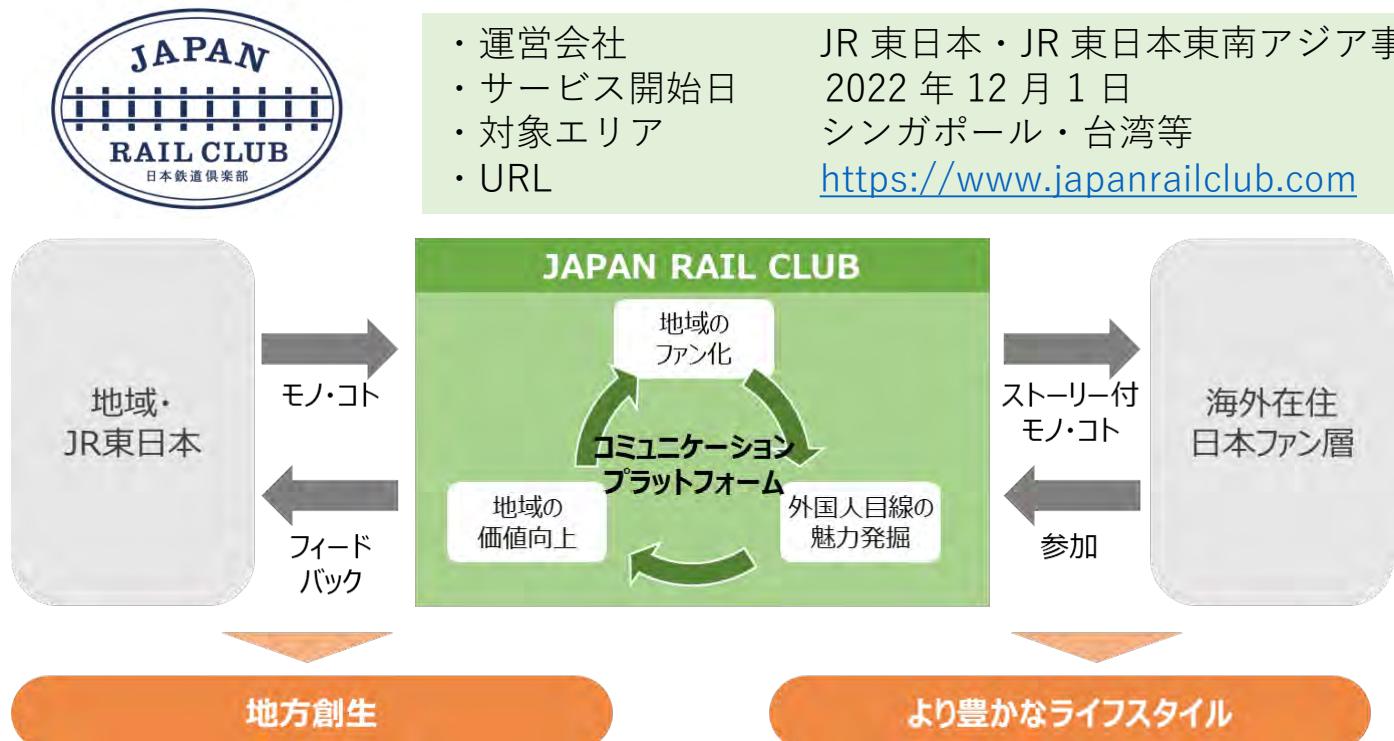
品質管理
冷蔵輸送、
冷蔵保管により
日本と同じ品質の
ままご提供



生産者の
意図を汲んだ
情報発信
知識がある販売
員が常駐し、お客
様へしっかりとご
説明



2022年12月、海外日本ファン向け会員サービス「JAPAN RAIL CLUB」を立上げ。日本との“つながり”を求める日本ファン層を対象にした、ヒト・モノ・コトを通じたプラットフォームを提供。





START YOUR SUBSCRIPTION

Choose Your Plan

Monthly

\$58.00 /mo

Quarterly

You Save \$8.70

\$55.10 /mo

Bi-Annually

You Save \$34.80

\$52.20 /mo

Yearly

You Save \$139.20

\$46.40 /mo

Total: \$58.00

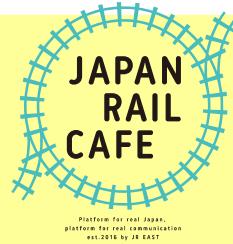
Billed every month. Cancel anytime.



今後の取り組み展望

今後の取り組みについて

SEABD



日本各地域の観光、食コンテンツにリアルに触れる場
イベント、試食・試飲、マンスリーメニュー、加工品販売など。



JAPAN RAIL CAFEだけではなく、外部の飲食店、日本食店との連携、地場スーパー・マーケットでのプロモーション実施により、規模を拡大。ライブコマースなど新たなプラットフォームの取り組みも。



今後の取り組みについて

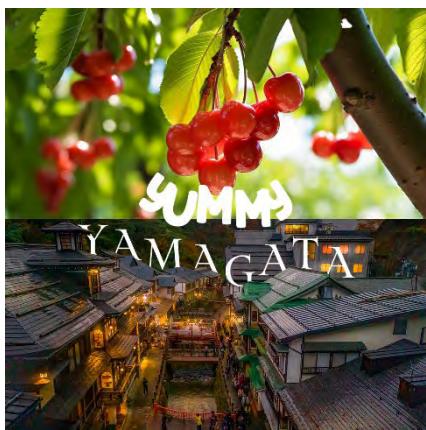
SEABD



オンラインでの地域の情報発信、日本各地のお菓子・地産品のお届け
旅アトでも日本のモノに触れる動線を確保



地域と連携したお土産Boxの提供により、より日本の各地域を身近に感じていただく。
鉄道バス類やユニークなツアー販売による各地へのインバウンド還流



山形お土産Box
(2024年6月)

今後新たに開始、拡大



今後の取り組みについて

SEABD

